

JIS

ステッチ形式の分類と表示記号

JIS L 0120-1984

(2006 確認)

昭和 59 年 7 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

繊維部会 シーム・ステッチ専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石川 章一	東京工業大学名誉教授
	島崎 恒蔵	日本女子大学
	三吉 満智子	文化女子大学
	寺山 伝三郎	東京重機工業株式会社
	関口 基	社団法人日本工業ミシン協会
	品田 喜男	社団法人家庭用ミシン工業会
	安藤 宗雄	ブラザー工業株式会社
	伊藤 保	ペガサスマシン製造株式会社
	別能 恒夫	日本化学繊維協会
	宮本 準一	社団法人日本衣料縫製品協会
	加藤 輝二	日本バイリーン株式会社
	林田 隆夫	株式会社カネボウファッション研究所
	嶋津 亨	財団法人日本メリヤス検査協会
	下谷 忠義	財団法人縫製品検査協会
	川端 龍義	日本衣料産業研究会議
	吉岡 初子	主婦連合会
	川又 幸子	全国地域婦人団体連絡協議会
	幾原 敏行	通商産業省生活産業局
	村田 照夫	工業技術院標準部
	加藤 元重	社団法人日本工業ミシン協会
	河内 保二	東京重機工業株式会社
(事務局)	米倉 久明	工業技術院標準部繊維化学規格課
	五十嵐 卓也	工業技術院標準部繊維化学規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和59.7.1 確認：平成13.1.20

官報公示：平成13.1.22

原案作成協力者：社団法人日本工業ミシン協会

審議部会：日本工業標準調査会 繊維部会（部会長 石川 欣造）

審議専門委員会：シーム・ステッチ専門委員会（委員長 石川 章一）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ステッチ形式の分類と表示記号

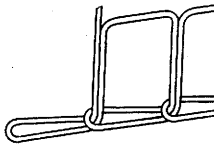
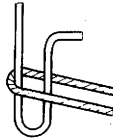
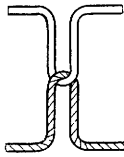
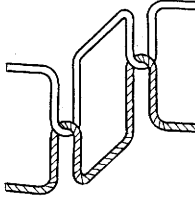
L 0120-1984

(2001 確認)

Stitch Types—Classification and Terminology

1. 適用範囲 この規格は、ステッチ形式の分類及び表示記号について規定する。
2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、表 1 のとおりとする。

表 1

用語	意味	(参考) 対応英語
ステッチ	糸又は糸のループが、自糸ルーピング、他糸ルーピング、他糸レーシングし、又は、布の中に入り、若しくは、布を通り抜けてできる形態の一単位。	stitch
自糸ルーピング	糸の一つのループが、同じ糸の他のループを通り抜けること。 	intralooping
他糸ルーピング	糸の一つのループが、他の糸のループを通り抜けること。 	interlooping
他糸レーシング	糸が、他の糸、又は、他の糸のループと交差又は通り抜けること。 	interlacing
ステッチ形式	布に対して、ステッチが方向性をもって繰り返される集合。 	stitch type
糸のグループ	例えば、針糸のグループ、若しくは、ルーバ糸のグループという同じ機能をもつ幾本かの糸の集まり。	group of threads
針糸	針によって布の中に入り、若しくは、布を通り抜ける糸。	needle thread
ボビン糸	針糸と布の中、若しくは、布面で他糸レーシングする糸。	bobbin thread

対応国際規格：ISO 4915 Textiles—Stitch types—Classification and terminology

関連規格：JIS L 0121 シームの分類と表示記号